



<学校支援情報>

～箏 弾けたよ！～

くにみ幼稚園では年長組の園児が和楽器鑑賞会として箏の音楽鑑賞と演奏体験を行いました。園児達は美しい音色を聞き「ジングルベル」や「むすんでひらいて」など知っている曲が流れると、きれいな歌声で歌い楽しんでいました♪

また演奏体験では象牙の箏爪を指にはめ童謡「ちゅうりっぷ」のフレーズに挑戦！

高橋菺寿々先生（高橋幸子さん）ら支援者の方に絃のはじき方を習い、3本の絃に触れ音が出ると自分で箏の音を出せたと満足し目を輝かせていました。



和楽器は小、中学校の音楽で必修になっています。幼児期から本物に触れる機会があるのは素晴らしいことです☆。

～心の片隅に国見の民話～

国見小学校3年生は総合学習「国見の民話」で国見町に伝わる民話から六つの語りを学びました。国見民話の会の皆さんからは「2年ぶりに子ども達の語りを聞けるのが嬉しい。」「私たちにも貴重な活動の場です。」と今年度はコロナ禍でも実施できた喜びの声が聞かれました。

児童のみなさんもDVDでは伝わらない微妙なニュアンスや難しい言葉の言い回しなどを直接指導していただき、楽しみながら語りべに挑戦していました。

楽しい思い出になってほしいです！



- ちよっぺ森の蛇（小坂）
- 観月台公園の杉の木の話（藤田）
- お金は木の葉っぱ（藤田）
- 雷様と徳江の正左工門のはなし（森江野）
- 豊治（とよず）の話（大木戸）
- 鷺の宮（大木戸）

～初めての奉納は明治15年！！～

国見小学校4年生は総合学習で内谷太々神楽保存会の方を招き「神楽」を学びました。はじめに神楽の由来や楽人の演奏を聞き、その歴史や独特な拍子に触れると、その迫力に應えるように、児童の皆さんは熱心に記録をまとめていました。

また「昔は録音技術がないので全て見様見真似で覚えた」「160年前から伝わっている」と聞くと、より伝統文化の重みを感じたようで、その後の体験では貴重な文化財に緊張しつつも嬉しそうな表情を見せ、積極的に生きた学びに取り組んでいました。



若者にもこの伝統文化を伝えていってほしいです。



歴史の重みに面を持つ手もピンッ！



「マンガで読む国見町内谷太々神楽ものがたり」も、ぜひ読んでみてね。

※この地域学校協働本部だよりをカラー版でご覧いただくことができます。「国見町教育ポータル」で検索し、「トップページ」を選択してください。

ボランティア随時募集中です！

○ボランティア登録の手続き、お問い合わせ先 【受付時間9:00～16:00】
国見町地域学校協働本部（観月台文化センター内）080-1857-3895（携帯）
国見町教育委員会学校教育課 585-2892